

エイジング社会の教養科目群

| 科目コード | OG132 | 科目名 | 古典として読む旧約聖書 | | 科目群 | 第1群 |
|---------------|--|------|-------------|-----|-----|-----|
| 担当者 | 月本 昭男（ツキモト アキオ） | | | | | |
| 開講日程・時限 | 春学期・金曜日・4時限 | 授業方式 | オンライン | 単位数 | 2単位 | |
| 備考 | 履修人数制限なし | | | | | |
| 授業の目標 | 旧約聖書は古代オリエントの辺境に生きた弱小の民イスラエルの歴史と信仰の記録です。それがユダヤ教の聖書になり、キリスト教成立の土壌となりました。そのような旧約聖書の思想と信仰を学び、その現代的意義を考えます。 | | | | | |
| 授業の内容 | 大小39の書物からなる旧約聖書は多様性に富む書物です。神話があり、歴史物語があり、詩歌があり、知恵の書があります。本講義では主として歴史物語をとりあげ、そこにどのような思想と信仰が積み込まれているのか、それが新約聖書やキリスト教へとどのように引き継がれていったのか、ときに日本の思想と比較しながら、具体的に探ってみましょう。 | | | | | |
| 授業計画 | 第1回 4/15 古代オリエントのなかのイスラエル 第2回 4/22 天地創造物語と国生み神話の比較 第3回 5/6 エデンの園の物語にみる人間観 第4回 5/13 洪水物語とその現代的意義 第5回 5/20 バベルの塔にみる文明批判 第6回 5/27 イスラエルの父祖たちの物語 第7回 6/3 出エジプトの史実性と思想的意義 第8回 6/10 モーセ律法のもつ社会史的意味 第9回 6/17 王国成立と王制をめぐる諸問題 第10回 6/24 強大国の狭間に揺れる王国時代 第11回 7/1 バビロニア捕囚のもたらしたもの 第12回 7/8 捕囚帰還と宗教共同体の成立 第13回 7/15 旧約聖書からみたキリスト教の成立 | | | | | |
| 成績評価方法 | 平常点およびレポート試験の総合評価 | | | | | |
| 講義中に直接使用する教科書 | 教科書は用いませんが、毎回、聖書は参照しますので、受講者は授業に聖書を持参してください。訳は問いません。 | | | | | |
| 上記教科書以外の参考図書 | 月本昭男、2022、『見えない神を信ずる』、日本キリスト教団出版局、2,200円（税別）。 | | | | | |
| その他（HP等） | | | | | | |